

広島市植物公園 見どころ案内

クリスマス飾るフラワー展

(展示温室)

～12月25日(月)

ポインセチアの巨大ツリーやクリスマスにちなむ植物、植物材料を使ったリースなどの展示で、一足早いクリスマス気分が楽しめます。

オオミレモン

(ミカン科)

園芸品種。果実の大きさは普通のレモンの5倍くらいあります。酸味はややマイルド。ほかの柑橘類も実っています。

大温室改修のため

休館中

リニューアルオープン
は平成30年春ごろです
(予定)

ハンギングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットがあり、葉ボタンをバラのブーケのように使い、エリカ、シロタエギクなどとともに、クリスマスバージョンに彩りました。

[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

カエデ(ムクロジ科)

カエデ(モミジ)の仲間の紅葉はピークを迎えています。落ち葉を踏みしめながらゆっくり散策しては。品種により葉の大きさや色合いが異なるのも見どころです。

ニッサ・シネンシス(ニッサ科)

秋の紅葉が美しく、ニシキギ(休憩展望塔)、スズランノキ(イベント広場)とともに世界三大紅葉樹のひとつに数えられます。寒さが深まるほど鮮赤色に紅葉していきます。

グランサムツバキ

(ツバキ科)

大きな白い花に黄色のしべが目立ち、色も大きさも目玉焼きのようです。

コダチダリア

(キク科)

メキシコ・中南米原産の遅咲きダリア。今年は未だ霜害を受けることなく、うす紫色の花がたくさん咲いています。

子福桜・三波川冬桜・

十月桜

(バラ科)

秋にお花見...と思われるかもしれませんが、桜が見ごろです。花は小ぶりですが、二季咲きで冬と春の二回楽しむことができます。

特別企画展

「毒と薬は紙一重」

～11月30日

用法や用量によっては毒にも薬にもなる植物を、写真やパネルで紹介しています。

